

調査期間 2016年9月1日～継続中
所在地 秦野市菩提
時代 縄文・弥生・奈良・平安・近世
調査原因 中日本高速道路株式会社による
新東名高速道路建設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線渋沢駅の北方約
3.3 kmに位置する。



主な調査成果

遺跡は秦野盆地を取り巻く山地の裾野、唐沢川に流れ込む2つの沢に開析されて残った尾根上に立地します。標高は200～210mを測ります。

これまで近世から奈良・平安時代、弥生時代の遺跡が見つかっています。

近世面では、墓坑や溝状遺構などが検出され、屋敷に関わる柱の穴などは見つからないものの、これらは屋敷地を囲う区画溝の一部と屋敷墓ではないかと考えています。

奈良・平安時代面では、竪穴住居址や掘立柱建物址を検出しました。この時代もこの場所は人が住む空間として利用されていたことがわかります。

弥生時代面では、動物を狩る落とし穴と考えられる土坑も見つかっています。

今後は縄文時代の調査へと移っていく予定です。



近世～奈良・平安時代 全景（西から）



奈良・平安時代 掘立柱建物全景（北から）



近世 墓坑群と溝状遺構完掘状況（北西から）



弥生時代 土坑完掘状況（南から）